

2007 HIPA青森研修見学アンケート

No.1

Q1:ツアー全体の良かった点や印象に残った所(建物)などとその理由

- ・弘前市民会館の緞帳が見れたこと
- ・弘前市民会館のホワイエ
- ・弘前市民会館(私的にはNO1!)
- ・「弘前市民会館」が印象的でした。前川國男のモダニズム建築の極意が詰め込まれている感じ
- ・青森の「前川國男が設計した建物」の市民会館ホールです。
躯体の打放し・・・最近ここ10年くらいですが打放しCONでも 小幅板で木目をだしたい!という設計が多いがこんな前から・・・ましてこんなに精度のよい 建物があったんだ-ってすごく 感動しました。
やはり 本物の職人さんたちの作品ですよね。設計者と施工者の心意気が感じられました。
- ・棟方志功の緞帳も よかったです!!
- ・木村産業研究所と市民会館と斎場・・・前川國男氏の進化が見えて、遺作の斎場は鳥肌が立ちました。
- ・前川國男の葬儀場。集骨室のトップライトから降り注ぐ静かな光がとても 印象的でした。
火葬中でしたので遠慮がちに見ましたが、落ち着いた雰囲気でした。
初期の作風と違いがありすぎでした。
全体的に普段見られない部分も見せていただいたことが一番の収穫だったと思います。
- ・前川國男作品の最初と最後が見れたこと。コルのサボア邸との比較ができて面白かった。
斎場の骨上場はアアルト作品のコピーですが、ひかりの取り入れが良かった。
(北欧までアアルトを見に行くまでもない・・・かな)
- ・「石場酒店」・・・試飲はもちろんですし 建物のすごさももちろんですが 今なお残ってる
八百万の神への信仰というか信頼というか・・・厨房に水の神様へのささげも「魚のしっぽ」があったり
かまどには 火の神・・・お部屋には 繁栄を祈っての打ちでの小槌があり・・・式台の前の量は
板の上に俗に言うござが敷いてあって 来客のあるときに新しいござに変える!
昔からの日本人としての 心遣いと 八百万の神への気持ちが すごく うれしかったです。
- ・安藤忠雄 設計の 「国際芸術センター」 の自然を生かした建物
- ・国際芸術センター青森 四季のアーケード
- ・国際芸術センター (スタッフの苦労話もおもしろく・・・)
- ・安藤忠夫の美術館 楽しかった。
収蔵品がなく運営方法がライブなため、企画が大変そうだが、技術・感覚の”今” のアートが見られる。
札幌にもこのような施設と運用できる役所の人材がいればな～
- ・美術館のバックヤードなど普段一般で行って見られない所が見学できた事
- ・青森県立美術館 (バックヤード見学がGOOD!)
- ・「青森県立美術館」ディテールなど今後の仕事の参考になりました
奈良美智の叛逆児が作品的におとなしくなっているのが気になります。
- ・青木淳 設計 「青森県立美術館」 白い近代的な建物
- ・印象に残ったものは、青森県立美術館です。建物全体のスケールに驚き、建物内の デザインや納まり、
構造に感動しました。展示されていた作品にも引かれてしまい、機会があったら、また是非足を
運びたいと思います。
- ・十和田ホテル～雰囲気が良かった
- ・予想外なところでは十和田ホテルですね～!!最高でした!!
- ・青森県出身の有名芸術家が非常に多いと知ることができ得た
- ・この季節 北国の待ちわびた春の訪れと八甲田の雪の壁を見れたことが大変ラッキーでした
- ・この会は色んな職種の専門家がいて、各場所で色んな説明を受けられて、すごい会なんだと改めて 感じました。
- ・大型バスからの見学だったので車窓のみの場所でも大変楽しむことができました。
- ・青森のみなさんが親切だった事
- ・何ひとつ滞ることなく、スムーズにいったことは、本当に良かったと思います。
- ・火葬場と、宿

2007HIPA青森研修見学アンケート

No.2

Q2:ツアー全体の悪かった、いまいちだった事など今後の改善点

- ・桜が咲いていなかったこと 晴れ男パワー不足による今一の天候
- ・強いていえば 天候が悪かった、桜が見れなかった。
- ・それは何よりも天候と桜の開花のご機嫌! 自然には逆らえない!
時折吹く八甲田山と岩木山から吹きおろる風と海からの風厳しい環境の中で暮らすことは北海道人も共通するけれど・・・、青森県人の遅しさと辛抱強さは慣習なども含めてまた違ったものがあるのではと感じました。
- ・各所でじっくり時間が取れなかった事と自由見学時間をもっと取れば良いと思った事
- ・ラッシー(牧羊犬)が、必要な場面が少しあったかなと、思いました。
- ・後ろの席は説明が聞こえなかった
- ・バスでの移動中 バスガイドが欲しかった
- ・しょうがない事だと思いますが、滞在時間の短さでした。
- ・「青森県立美術館」は 展示作品もよくて・・・もう少し時間をかけてゆっくり観たかった
- ・もう少し時間に余裕があったら良かったかな?でも日程と金額にも関係するので一概には言えない
- ・食事の後の二次会で「今日の見学の感想なんかを話し合えないんですか?」と聞かれて・・・必要だと感じました。
- ・主催者側からは、当初予算より少々オーバーしてしまった事を反省します。
企画立案が遅かった為、格安パックの確保が出来ず、参加人数に制限を設けなければならなかった為、参加者の方に余計な負担をお掛けしてしまいました。
今後は出来るだけ早目に立案し募集を掛けて、より多くの方々の参加を頂くようにしたいと思います。
上記のような状況で、宿泊先も十和田湖まで行く事になり、弘前市内の見学時間が不足した事は反省に値するかな?移動時間がもったいなかったですネ
でも結果的には、大変面白い深いホテルに泊まれて、皆さん満足そうでホッとしてます。
- ・写真を撮る時間がもうすこし頂ければと思います。
- ・盛り沢山だっただけに、少し足早でした。もっとゆっくりみたいところもありました。
今度は個人的に行こうかと思えます。
- ・盛りだくさん過ぎるところかな(笑)
ただ、インテリアに関しては、面白いと時間が足りないと感じるけれどつまらないと時間が余って、ブーイングの対象となるので、こればかりはなんともいえない。(時間配分が一番難しい)

Q3:次回企画の希望など、ありましたら・・・

- ・海外もいいですよ・・・まだ早いでしょうか?北欧やドイツや・・・
国内も私はあまり行ってないので何処でもOKです。古い洋館よりも和建築の方が好きですが・・・
やはり一般公開を余りしていない所など「おいしい」ですね!
数奇屋等、茶室建築を見て、詳しい方のお話も聞けたら、もう言う事無しです!!
- ・瀬戸内海とアートの旅等いかがでしょうか?
瀬戸内海の美しい風景と美術館が点在 しかも海の幸と名酒の宝庫(これは外せないですね。)
もちろん有名建築多いです。2泊3日になるかも。
- ・金沢、奥飛騨
- ・2008年2月メルボルンデザインフェスティバル
- ・国稀(本間)酒造たのしみにしています。個人でも行っているが普段見せてもらえない所見れると良い
- ・高松方面、飛騨の家具屋
- ・今後の希望は金額などを抜きに考えると海外などに行ってみたいです。
- ・津軽海峡を越えたので 今度は 海外に 行きましょう!!!
- ・時期と旅費を考慮した企画であれば、今まで一泊ツアーはタブーのように避けて来ましたが
今回実施してみて、問題ないしヤッパリ異国で羽を伸ばして、気の合う仲間と酒を飲むのは
楽しい事に気が付きました。
- ・未だ見てない建物が、青森地区に沢山あるので、「秋の奥入瀬と田酒買出し」ツアーを希望
- ・安藤忠雄 京都めぐり(個人的)

2007HIPA青森研修見学アンケート

No.3

- ・蔵群（中山真琴）、三余庵（象設計）など宿泊。格安で（笑）
- ・スペイン・・・バルセロナでガウディの現場をボランティア体験（笑）、マラガでピカソ、パラドール宿泊
- ・ヤッパシ、海外ツアーでしょう（笑）といいつつ北海道から出るのはすべて「海外ツアー」ね。
今回たまたま、前川國男でしたが、白井誠一や、吉村順三など、日本のモダニズム建築やインテリア黎明期の作家に焦点を当てて、順に見ていくのもいいのかもしれない。
（自由ヶ学園明日館は良かったです）
ポストモダンを通りこして、モダニズムにまた脚光が当たっているような気がします。
インテリア関連に従事していると一般的に、建築作品には建築関係者より弱いと思う。
リデザインをするにしても、建築家のインテリアを知り、建築作品を見て、その由来、出目がわかれば「手法」が見えてくるのでは？
日本におけるDOCOMOMO100選はフリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』に一覧が載ってます。
壊される建物（情報設備インフラが対応不可）が多いので、見るなら早い方がいいかもよ。